

英語科 3年

ローザさんの逮捕事件の際、バスの乗客はドライバーの言動をどう感じたのだろう。  
white people, black people, myself の3つの立場で考えを共有しよう。

担当 丸田 仁

【活動の目標】

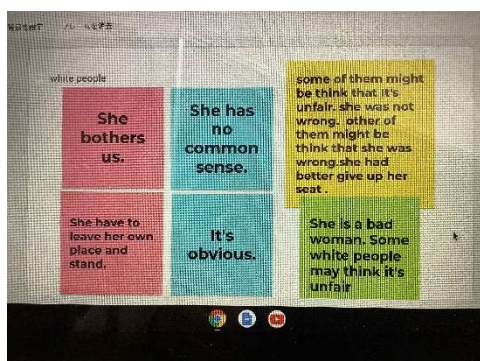
3つの立場で思考し、ジャムボードで意見を共有する活動を通して、差別に対してどう行動すべきか考え、それを発信することができる（思考・判断・表現）

【 問 い 】

- ・この活動に入る直前に現代社会における差別事象を紹介することで、身近な問題ととらえさせる（Ⅰ）
- ・ジャムボードで共有することで、自分の意見と他者の意見を比較し、考えの変容に期待できる（Ⅱ）

今回 ICT を活用した場面	従来の活動
<p>B4 表現・制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で自分の考えをまとめさせる</li> </ul> <p>C2 協働での意見整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(ジャムボードに書かれている) 他者の意見と自分の考えを比較する</li> <li>・順番に発表し合い、説明を聞き、理解する</li> <li>・代表生徒がまとめて発表し、全体で共有する</li> <li>・教師が、ジャムボードを見せながらフィードバックを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書かせる</li> <li>・順番に発表する</li> <li>・ホワイトボードにまとめさせる</li> <li>・代表生徒が発表する</li> <li>・教師が、黒板に整理し、フィードバックを行う</li> </ul>

【資料】 生徒が作成したレポート



【ICT 機器を活用する良さ】

- 発表以前に他者の意見がわかるので、考えの変容や意見の再構築に期待できる
- 発表の際、ワークシートやホワイトボードを使用する必要がない
- 一人一役の意識が高まる
- 苦手な生徒にとって、他者の意見を参考にしながら活動に参加できる

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・作成時間に個人差がある
- ⇒タイピングの練習をさせるか、音声入力をさせる
- ・文字が見にくい
- ⇒発表者と操作担当を決め、操作する生徒に拡大・縮小をさせる